

東日本大震災・熊本地震災害 復興支援 平成 29 年度学生ボランティア募集のご案内

～伝える・繋げる・続ける～

大学コンソーシアムひょうご神戸、神戸市社会福祉協議会、ひょうごボランタリープラザの共催で、平成 29 年度学生ボランティア事業を実施します。平成 29 年度は、5 月～7 月にかけて、研修会と神戸の高齢者施設や児童館などでボランティア体験を行う予定にしています。被災地支援活動については、宮城県名取市（10 名（予定））と熊本県益城町（30 名（予定））に分かれます。被災地での活動以外はすべて同じプログラムへの参加となります。高齢者や子どもたちとの交流・支援ボランティア活動を通じて、他大学の仲間とともに、これからの「あなた自身」の可能性や生き方のヒントを見つけてみませんか？



- 募集条件 大学コンソーシアムひょうご神戸加盟大学の学生
- 活動期間 平成 29 年 5 月～平成 29 年 9 月末まで
- 募集人数 30 名程度(書類選考を行います)
- 応募方法 下記の大学コンソーシアムひょうご神戸 HP よりお申込みください。記入内容に基づき書類選考いたします。選考結果については、後日ご連絡します。
<http://www.consortium-hyogo.jp/>

- 応募締切日 平成 29 年 4 月 30 日(日)まで
- 事業目的 災害支援を活動テーマに位置付けつつ、「自発性を持ち、社会的ニーズに対して活動する」というボランティアの原点に立ち、自ら課題を見つけ協働していくことを学びます。
- スケジュール (予定) 平成 29 年 5 月 13 日 (土) 14 時 00 分～17 時 30 分
オリエンテーション・研修会 (参加必須)
⇒以降月に 1 回程度ミーティングと研修会を行います。(詳細は裏面に記載。)
6 月下旬～7 月中旬：神戸市内でのボランティア実習 (全員)
8 月 25 日 (金)～8 月 28 日 (月)：宮城県名取市でのボランティア活動 10 名※
(3 泊 4 日)
9 月 8 日 (金)～9 月 11 日 (月)：熊本県益城町でのボランティア活動 30 名※
(車中 2 泊・現地 1 泊の 3 泊 4 日)
※活動には昨年度参加した学生がスタッフとして参加します。活動人数は学生スタッフを含んでいます。
- 参加費 無料 (食事代は自己負担)

- 共 催 ひょうごボランタリープラザ・神戸市社会福祉協議会・大学コンソーシアムひょうご神戸
- お問合せ先 大学コンソーシアムひょうご神戸 学生交流委員会 ボランティア事務局
(甲南大学 地域連携センター事務室 松下・村田)
〒658-8501 神戸市東灘区岡本 8-9-1
TEL:078-435-2276 Mail: conso-volunteer@adm.konan-u.ac.jp



Let's make together

本年度の具体的な活動スケジュール（予定）と活動に関するQ&Aを紹介します。

今、参加を迷っているあなた！参加しなければ気づけないことがあります。

学生生活で今しかできない経験をするチャンスです！ぜひご応募ください。



平成29年度 学生ボランティア事業スケジュール（予定）

■第1回 オリエンテーション&第1回研修会（全員）

〔日時：5月13日（土）14時00分～17時30分 場所：ひょうごボランタリープラザ セミナー室〕

■第2回 第2回研修会（全員）

〔日時：5月27日（土）14時00分～17時00分 場所：こうべ市民福祉交流センター 201 教室〕

■現地ヒアリング（代表者のみ）

〔日時：熊本県益城町：6月3日（土）～4日（日）、宮城県名取市：6月10日（土）～11日（日）〕

■第3回 ヒアリング報告会&第3階研修会&チームミーティング（全員）

〔日時：6月17日（土）13時00分～17時00分 場所：こうべ市民福祉交流センター 301 教室〕

■神戸での体験プログラム（全員）

〔日時：6月下旬～7月中旬の間の土曜日に実施 場所：神戸市内各施設〕

■第4回 チームミーティング（全員）

〔日時：8月4日（金）13時00分～17時00分 場所：甲南大学〕

■被災地支援活動

①宮城県名取市 〔日時：8月25日（金）～ 8月28日（月） 3泊4日〕

②熊本県益城町 〔日時：9月8日（金）～ 9月11日（月） 3泊4日（うち車中2泊）〕

■第5回 振り返りの会

〔日時：9月23日（土）14時00分～17時00分 場所：ひょうごボランタリープラザ セミナー室〕

■報告書作成（10月～翌年3月）

※スケジュールは先方との調整により変更になることがあります。

Q & A

Q1. 一人での参加が不安です…

A1. 一人でも大丈夫です！昨年度の参加者の多くが、一人での参加でした。また参加者である他大学の学生はもちろん、ボランティア受入先の方とも会話できる機会が多く、逆に人脈を広げることができます。学生リーダーを中心にととても話しやすい雰囲気ですので、仲間も増えます！

Q2. 授業、就活、部活、バイト等と両立できるか不安です…

A2. 全く問題ありません！昨年度も多くの学生が両立して活動に参加しました。ミーティングに参加できないときは、チームや学生全体で情報共有し、お互いに助け合いながら活動しました。

Q3. この事業へ参加することでどんな力が身につきますか？

A3. 自分の考えを発言し議論する機会が多いので、お互いを尊重、理解しながら一つの目的を達成する力が活動を通して身に付きます。また自分には、今何が出来るのか考え、具体的に行動することの大切さも、ボランティアを体験することによって学ぶことができました。